

発刊のことば

沖縄県教育委員会教育長 前 田 功

沖縄県教育委員会は、昭和五十二年三月に『沖縄県史』全二十四巻を完結させ、各方面から身にあまる好評をいただきましたが、この成果をふまえてさらに事業を発展させるべく、ひき続き昭和五十二年度から『沖縄県史料』編集十年計画を発足させ、現在編集業務を進めつつあります。

本計画は、『沖縄県史』に収録できなかった近代史料をはじめ、『沖縄県史』が対象としなかった前近代、戦後を含めた史料を収録し、「近代」「前近代」「戦後」の三系統の史料集を逐次刊行しようとするものです。ご承知の通り、沖縄の歴史的、文化的伝統は日本国内でも独自の位置を占めており、その伝統の解明と継承はひとり県民の要求であるのみならず各分野の研究者から近年ますます関心を寄せられているところであり、しかしながら、沖縄の貴重な文化遺産は去る沖縄戦でほとんど失われ、史料の空白状態は沖縄研究にはかり知れない困難をもたらしました。

さいわい『沖縄県史』の編集事業の過程で関係各位から多大なご協力が寄せられ、県外に保存されていた沖縄関係史料を活用する途がひらかれ、また、県内に残存していた諸史料の発掘収集が進み、沖縄関係史料は少なからぬ集積をみるにいたりしました。これに旧琉球政府から引継いだ戦後史料を併せて、ここに全沖縄史を通じての史料集の刊行を計画した次第であります。

この『沖縄県史料』の刊行事業が、今後の沖縄研究の発展にいささかなりとも貢献することになればこれに過ぎる喜びはありません。本事業の遂行にあたっては新たな史料の発掘収集作業をはじめとして幾多の困難が予想されますが、各位の従前にまさるご理解とご協力によって、その完遂を期したいと思います。

本年度は『沖縄県史料』前近代Ⅰを発刊することになりました。前近代編の第一回配本に当りますので、首里王府の仕置に関する基本史料を収録し今後の研究の便に供することにいたしました。

昭和五十六年一月